

青空フェスタ

実演販売が大好評

明日葉や里芋 くさやも完売



好評だった明日葉の天ぷらとサターアングギーの実演販売

ふるさとネットは、10月4日に神楽坂で開かれた「青空フェスタ」に参加、明日葉などの三宅島の特産物を販売した。今回は初めて実演販売も行ったこともあり、多くの人が店に立ち寄っていた。

ふるさとネットが、神楽坂商店街が主催する「青空フェスタ」に参加するのは、昨年の10月、今年の5月に続いて3回目となる。今回は、明日葉やくさや、里芋などの販売、写

三宅島新報

発行所：三宅島ふるさと再生ネットワーク
〒100-1101
東京都三宅島三宅村神着 320-2
TEL 090-4922-0798
発行人：会長 佐藤就之



公道レース断念？フェスタ中止発言も…

第3回村議会は、9月25日に行われた。一般質問では、坪田高濃度地区問題で浅沼昶氏が「早期に沖ヶ平対策を」と発言。寺澤晴男氏が「昨年9、10月に実施した一時帰宅が、今年は10月がなぜ駄目か、延長を」と、また、モーターフェスタ

第3回村議会 9月25日にモーターフェスタなどで論戦

の公道レース見直し等について、浅沼徳広氏と佐久間達巳議長が、副議長と交代し異例の発言。また佐久間氏は、観光協会への補助金交付と村の責任を厳しく追及した。そのほか、平川大作氏は村の未収金、平野辰昇氏は介護などを取り上げた。重大課題の審議は、議員が報告会を開き島民に知らせ対話を求めたい。

島の状況伝える機会に 当日は天候にも恵まれ、商店街は多くの人が訪れた。商品の販売や説

明をしたのは、酒井一豊副会長や在島者のネットのメンバーとボランティア。声を囁らして売り込みをした。用意したのは明日葉を17・5kg、里芋を約44kg、くさや類を124点など。午前中は売れ行きが今ひとつだったが、午後には盛り返して、終了

3回目ということもあり、「この前もここで明日葉を買わせてもらいました」などと話すりपीターが多くいたほか、写真を見て島の様子を聞いてくる人がいて、訪れた人に島の状況を伝える機会になったようだ。

真の展示や三宅島新報の配布などに加えて、路上に用意されたテントで、明日葉の天ぷらとサターアングギーの実演販売も行った。

時間を18時前に無事完了した。

担当 横山

事務局便り

- 帰島5周年新年会
2010年2月6日(土)18時～
ビストロおきみくらにて、
会費5,000円。(品川区南品川3-5-3青横ビル3階・京浜急行青物横丁駅近く)
TEL:03-5715-3688
- 第17回世話人会
12月14日(月)18:30～
詳細は追って連絡します。
- ご寄付のお願い
郵便振替口座
口座番号:00120-3-545036
口座名称:三宅島ふるさと再生ネットワーク
事務局:あすなる保育園内
郵便番号:173-0005
住所:板橋区仲宿25-6
電話・FAX 03(3963)5697
担当 横山

会長時評

もっと政治に関心を!

衆議院議員選挙 投票率は伊豆七島で最下位

党派別獲得議席

※かつこ内は公示前との比較

| | 小選挙区 | 比例代表 | 合計 |
|-----|------|------|-----------|
| 民主 | 221 | 87 | 308(+193) |
| 自民 | 64 | 55 | 119(-181) |
| 公明 | 0 | 21 | 21(-10) |
| 共産 | 0 | 9 | 9(±0) |
| 社民 | 3 | 4 | 7(±0) |
| みんな | 2 | 3 | 5(+1) |
| 国民新 | 3 | 0 | 3(-1) |
| 日本 | 1 | 0 | 1(+1) |
| 革新ク | 0 | 0 | 0(-1) |
| 諸派 | 0 | 1 | 1(±0) |
| 無所属 | 6 | — | 6(±0) |

小選挙区地区別 候補者得票数

| | 当(民前) 松原 仁 | (自前) 石原宏高 | (共新) 沢田英次 |
|-----|------------|-----------|-----------|
| 三宅村 | 601 | 885 | 114 |

比例代表東京ブロック 政党別得票

| | 民主 | 自民 | 公明 | 共産 | 社民 | みんな | 国民新 | 日本 | 幸福 |
|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|----|----|
| 三宅村 | 575 | 600 | 181 | 96 | 42 | 63 | 17 | 6 | 8 |

衆議院議員選挙の結果 2009年8月30日投票

都議選で民主党が第一党となり、8月31日の臨時議会で議長に民主の田中良氏(48)、副議長に公明の鈴木貫太郎氏を選出。自民以外の議長は、社会党が第一党になった。1965年以来だ。

前日30日開票の総選挙における都内の勢力図もおよばない。元気を

7月の都議選で民主党が圧勝したことは、島民の生活にも大きな影響がある。その後行われた総選挙の投票率は伊豆諸島で最低だったが、我々の生活に影響する政治に、もっと関心を持つ必要がある。

浅沼氏追悼集会

200人集め御茶ノ水で



三宅島出身の浅沼稲次郎社会党委員長が、暴漢に襲われて来年で

「平和といのちの集い」生々しい事件の状況報告も

50年。三宅郷土資料館では、山田照一さんの資料提供で、展示コーナーを設けている。

東京御茶ノ水の総評会館では、10月9日夜に200人余が参加して3回目となる追悼集会が開かれた。「浅沼稲次郎さんの意志を受

け継ぐために 女たちが語る『平和といのちの集い』。開会は、「又マさん」を語る元都議会議員の四谷信子さん。又マさんの教えと、暴漢に襲われた日、会場の最前列で警備にあたっていた生々しい状況などを話した。

そうよ。前回58年噴火時のように無関心では何が起こるかかわらないよ!

義援金 8回目の配分決定

高濃度地区の「生活再建支援義援金」として8回目の義援金の世帯当りの配分が決まった。

旧阿古高濃度地区22世帯に145万円、坪田高濃度101世帯に生活再建支援義援金145万円(但し居住開始時点で配分)と生活維持支援義援金として単身世帯60万円、複數世帯100万円、高濃度地区火災見舞金(旧を含む)4世帯に100万円が三宅村義援

金配分委員会の意見を聞き実施された。

配分対象は、09年4月1日を基準日とし、死亡による消失世帯を除く2000年6月26日の発災日に高濃度地区内に住民登録し(外国人登録も含む)家が自己所有の世帯。支給は10月10日現在で約9割。期限はない。

プレミア商品券を発行

村は9月28日の村議会で補正予算を組み、島民の生活支援、義援金配分委員会の「付帯事項」低所得者世帯支援、18歳未満の子育て世帯支援と商店などの活性化支援のた

めに20%増しのプレミア商品券を発行する。

例えば10000円の商品券で12000円の買い物ができる。村の政策推進室では、10月に具体的内容をつめ、11月中には公報で知らせたいと言っている。

内容は、一般は一人当たり3万円限度で商品券を購入すると20%割増となり、その20%は村が補てんするというもの。低所得者世帯の条件は構成員全員が非課税世帯。商品券は、商店、飲食店、床屋などサービス業、塗装などにも使えるよう、商工会などと折衝中だ。

新たな取り組み 様々に

観光事情 この夏の報告

三宅島復興の鍵になる観光。今年の夏に行われた様々な取り組みを、観光協会などから報告していただいた。島民の努力で、新たな取り組みが始まっている。

ゼミ合宿やボランティア 島民の協力で受け入れ

夏に島を訪れたのは、観光客や帰郷者ばかりではない。ふるさとネットでは、島民の皆様と協力を頂き受け入れた。

- ・東京大学工学部社会基盤学科 交通・都市・国土学研究室及び農学部森林風致学科学生が7月にゼミ合宿。7月21日には東京事務局で在京者と一橋大学生と合同で交流。報告書を頂いた。
- ・一橋大学大学院社会学研究科(町村啓志教授ゼミナール)の学生と町村教授が9月に「三宅島の噴火と噴火が人びとに及ぼした影響」の聞き取り調査に来島。
- ・向上高校新聞委員会(災害研修とボランティア)
- ・成島ますみ氏(赤十字看大)

10年ぶりの「富賀神社大祭」
今年の「夏の三宅島」は、10年ぶりの歓喜に包まれた。2000年の噴火以来、中止となっていた「富賀神社大祭」が復活。8月4日の宮だしから始まり、9日の納社までの1週間、神輿は島内5地区をリレー、連日各地の老

来、中止となっていた「富賀神社大祭」が復活。8月4日の宮だしから始まり、9日の納社までの1週間、神輿は島内5地区をリレー、連日各地の老

来、中止となっていた「富賀神社大祭」が復活。8月4日の宮だしから始まり、9日の納社までの1週間、神輿は島内5地区をリレー、連日各地の老



三宅と八丈島のフラ・グループと仲良くパチリ(鑄が浜港)

若男女入り乱れての通称「けんか祭り」は、大いに盛り上がりを見せた。7月19日の神着地区「牛頭天王祭」、31日から行われた「マリンスコーラー(写真)も多くの観光客が加わり、遅くまで歓声がやまなかった。

トライアスロン大会開催

昨年、台風のため中止となった「東京国際トライアスロン三宅島大会2009」は、好天となった8月29日に開催された。島で開催される初めてのトライアスロン公式大会とあつて、全国から集まった約100人のトライアスリートに、島民たちも、沿道で声援を送った。レースは横山大空さん

親子キャンプ等も盛況

7月から8月にかけては、東京都の事業やキッズ親子キャンプなど民間団体も合わせたたくさんの子どもの「夏休みサマースクール」が来島した。家族連れの観光客も例年に比べ多く、また9月のシルバーク

(24歳・学生・東京ヴェルディ所属)が圧勝。リレー部に地元から3チームが参加した。島は、4年後の東京国体の会場になる。

にはダイバー、イルカツアーも来島、昨年を上回る人数であった。10月から11月にかけては、3回目を迎える「モーターサイクルフェスティバル」(10月24日、25日)と、17回を迎えた「磯釣りの祭典」(11月22日予定)、毎週末には、植林を目的とした企業の研修ツアーがある。

三宅島エコ茶話会 高齢者と若者が交流

27日、アカコッコ館で14時から19人の参加。アカコッコ館レンジャーと社協の若者同士の企画だ。お年寄りにはみんな杖

社協職員とレンジャーが企画

たいへん心温まる面白い集いに参加した。その名は「初秋の三宅島エコ茶話会」9月27日、アカコッコ館で14時から19人の参加。アカコッコ館レンジャーと社協の若者同士の企画だ。お年寄りにはみんな杖を頼りに、社協の車で参加。噴火前後に移住してきた男女の若者の取り合わせが面白かったし、昔と今で踊り付き。アカコッコを食べた?、椎の実、お茶、テングサなど。次回は、12月13日開催の予定です。申込みはアカコッコ館へお願いします。

【お便り・里芋に御礼】(要約)

訪問活動にて、ご寄付頂いた里芋を在京島民の方へお届けしました。たくさんの感想とお便りを頂きました。

○この度ご多忙中にもかかわらず事務局より三宅島の里芋を沢山届けて下さいました。恐縮の念にお礼状出させて頂きました。早速三宅島の味を懐かしく賞味させて頂き、帰島の願いも老体、通院の明暮れに叶わない現状です。一つ一つ私達の言葉に応えてくださる姿に胸が熱くなりました。乱筆でございますが心よりお礼状とさせて頂きま

す。皆さまのご健勝お祈り申し上げます。

(北区 M様)

○三宅島の里芋、大事に全ておいしく頂きました。三宅の人達の事が思い出されました。DTPA団体と三宅の佐藤会長、どうもありがとうございました。

(八王子市 S様)

○たくさんの里芋をありがとうございました。早速近所の人たちと頂きました。

(板橋区 I様)

【ご寄付者名】

横井和之様、匿名希望様、M様、佐藤就之様、中村俊江様、高橋栄一様(8月16日～10月15日)

は、1軒のお宅を訪問するとともに、4軒に届いた里芋を、手紙とともに郵送した。お届けしたお宅では、たいへん喜んでいただけました。懐かしい味に感激しました。や「嬉しくてすぐに料理をして食べました」などの内容が書かれた感謝の手紙が届いている。このような喜びの手紙の要約を、この面の「お便り」のコーナーに掲載した。

も進めていきたいと思ます。(DTPA一同)

ネットに届いた!島の味

里芋を在京者の皆様へ

ふるさとネットに、三宅島ファミリー農園から里芋が届いた。2000年の全島避難指示以来、未だに島に帰れない人への心づくしのプレゼントを、ネットのメンバーが在京者の方のお宅に届けると、「おいしかった」や「懐かしい」などの感謝の声が出てきた。



農園で袋詰めされたご寄付の里芋



里芋を届ける訪問員

ネット事務局では、9月12日に北区、板橋区の9件へ訪問し、三宅島ファミリー農園の皆さんが送ってくださった里芋を届けた。訪問先では、「大好物です」や「ありがたう」とお礼の言葉を頂いた。しかし、都宮桐ヶ丘団地では、次々と新しい棟が建ち、新しい棟へ引越しをされるケースもあり、連絡先がわからず、せっかくの里芋をお渡しできない方もいた。

戻ってきた感謝の声 八王子市や稲城市などを担当するDTPAで

三宅島ファミリー農園 シルバー中心に栽培

三宅島ファミリー農園の皆さんが、島の懐かしい味を楽しんでもらうために、500g入り300袋の里芋を、訪問活動の際に在京者の方に届けてほしいという申し出を、ふるさとネット

再開できた感謝の気持ちで善意の提供を

再開できた感謝の気持ちで善意の提供を 三宅島ファミリー農園は、20年前からスイカ、里芋、バラなどの作物を作り、イベントなどで販売をしており、現在はシルバーの方々を中心となつて、作物の栽培をしている。今回里芋の提供を行ったのは、噴火後に島へ帰って農園を再開できることの喜びを感じていたオーナーが、未だに島に帰れない方の

編集後記

私たちは、今後の新報に関し、読者の皆様の声を聞き、島の様子についての記述を増やしていきたいと考えています。今号は3面に島の観光について掲載しました。また、1面に掲載した10月4日の神楽坂青空市では、3回目となる出店を手伝うことができました。このような機会も利用し、東京でのPR活動も進めていきたいと思